

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	子育て支援課	事業No.	120
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H27	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			子育て応援プラン	
				男女共同参画計画	
	法令・例規等			児童福祉法、子ども・子育て支援法、児童の虐待防止等に関する法律	
			男女共同参画社会基本法、女性活躍推進法		
事業目的	対象	子育て中の家族			
	意図	閉じこもりがちな子育て家庭を地域による子育てに転換することで孤立化が防止される。家庭育児に関する相談や援助を実施する環境を整えることで、子育てが安定し家庭での養育力が向上する。			

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)						
		前年度策定した、第2期飯田市子ども子育て応援プランを推進しました。 こども家庭応援センターが中核となり、支援を必要とする家庭に対して養育支援訪問やショートステイ・トワイライトステイ事業を活用して、児童虐待の予防に取り組みました。 4カ月児訪問により、地域での見守り体制の充実及び子育て応援ハンドブックをリニューアルし、内容の変更とフルカラーにして見やすくするなど、子育て情報の充実を図りました。 ながの子育て家庭優待パスポートを県の新規協賛店舗の拡大に協力しました。	ファミリー・サポート・センター運営事業	7,132	養育支援事業	1,476	おめでとう赤ちゃん事業	661	次世代育成支援行動計画推進事業	1,151	子育て家庭優待パスポート事業	411	会計年度任用職員(家庭相談、育児支援等)
		その他の経費	0										
活動指標	指標名(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度				
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績			
	ファミリーサポート活動実施件数	件	1,400	1,187	1,656	1,383	1,635	831	1,380	784			
	家庭訪問数(0歳児数)	数	850	793	842	751	800	709	717	642			
	養育支援家庭訪問数	件	300	291	300	199	300	60	223	50			
	児童ショートステイ件数	件	129	99	128	128	126	54	174	161			
	児童トワイライトステイ件数	件	1	2	1	0	1	8	1	2			
	優待パスポート協賛店舗数	店舗	230	234	230	233	230	248	230	238			
2年度決算(千円)	予算額		23,486		特定財源内訳及び補足事項								
	決算額		19,076		(国)子ども・子育て支援交付金(1/3)								
	財源の状況	国庫支出金	8,363	(県)子ども・子育て支援交付金(1/3)									
		県支出金	8,584	(そ)子育て短期支援事業保護者負担金 532千円									
		地方債	0	(そ)ふるさと寄附金 1,400千円									
		その他	1,932										
一般財源		197											

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	3	2	8	1	3	11,982	8,245	会計年度任用職員人件費
2	1	3	2	8	11	1	7,133	7,132	ファミリーサポートセンター運営費
3	1	3	2	8	11	2	1,846	1,476	養育支援事業費
4	1	3	2	8	11	7	661	661	おめでとう赤ちゃん事業費
5	1	3	2	8	11	8	1,318	1,151	次世代育成支援行動計画推進事業費
6	1	3	2	8	11	10	546	411	子育て家庭優待パスポート事業費
7									
振り返り課題認識		児童虐待予防や発達支援について、それぞれの家庭の支援ニーズにあった社会資源を活用できるように、関係機関のさらなる連携強化が必要です。 コロナ禍における、子育ての孤立の解消に向けた新たな施策が必要です。							
上記の課題解決のための有効策		引き続き、関係機関携との連携強化のための研究を進め、他機関の取組の相互理解を深めることが大切です。 子育ての孤立の解消に向けた施策の一つとして、子育て応援アプリの導入を検討します。							
次年度に向けての取り組み		引き続き、関係機関間連携の強化のための研究を進め、他機関の取組の相互理解を深めます。 子育て応援アプリの導入に向けて、アプリの選考、ニーズ調査、コンテンツの検討などを行い、本格運用を目指します。							